

謝 辞

本研究では、小・中学校の特別支援学級に在籍する自閉症のある児童生徒の自立活動の指導の現状と課題を明らかにし、研究協力機関での実践を通して自立活動の授業を組み立てるうえでの要点についてまとめました。また、本研究では、特別支援学級において自閉症のある児童生徒に対して、自立活動を時間に位置づけて指導することの意義を考察しました。研究の実施に当たっては、研究協力機関と研究協力者の先生方をはじめ、多くの方々にご協力をいただきました。

研究協力機関の千葉県我孫子市立我孫子第二小学校の金子道子先生、茨城県岩井市立第一小学校の小堀久枝先生、広島県坂町立坂中学校の荒谷美巳先生、群馬県太田市立綿打中学校の萩原喜美恵先生には、自立活動の指導をはじめとする特別支援学級での授業参観と授業後の協議において貴重な資料や情報をご提供いただきました。また、研究協力にご理解くださいました管理職の先生方、研究分担者の学校訪問や授業見学に快く対応してくれた子ども達、そして、研究報告書への実践例の掲載をご承諾くださいました保護者の方に心より感謝申し上げます。

研究協力者の皆様には、本研究を進めていくに当たりご尽力を賜りました。特に、筑波大学の野呂文行先生には、研究協議会において本研究の進め方やまとめ方についてご示唆、ご助言を賜りました。

アンケート調査にご協力いただいた自閉症・情緒障害特別支援学級と知的障害特別支援学級の先生方、また、公開研究協議会にご参加いただいた特別支援学級の先生方には、特別支援学級の指導体制上の課題や自立活動の指導上の課題を把握するうえでの貴重な情報をご提供いただきました。

ここに記して、皆様に深く感謝申し上げます。

本報告書は、自閉症のある児童生徒の指導に携わっている特別支援学級の先生方、特に特別支援学級を担当して間もない先生方や初任の先生方が、自立活動の指導を計画、実施する際の手がかりとなるように、また、自閉症のある児童生徒への自立活動とは何かを考えるうえでの参考となるように、日々の実践で活用いただけるものとなることに努めて作成いたしました。

1人でも多くの特別支援学級の先生方に本報告書をお読みいただき、ご活用いただくことを願うとともに、忌憚のないご意見をいただければ幸いに存じます。

研究代表者
企画部 主任研究員
柳澤 亜希子

専門研究B

「特別支援学級に在籍する自閉症のある児童生徒の自立活動の指導に関する研究」

平成 26 年度～平成 27 年度

研究成果報告書

研究代表者 柳澤 亜希子

平成 28 年 3 月

著作 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

発行 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

〒 239-8585

神奈川県横須賀市野比 5 丁目 1 番 1 号

TEL : 046-839-6803

FAX : 046-839-6918

<http://www.nise.go.jp>

